

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	都市災害の減災と復興のシステム構築 - 災害研究の新しい地平をめざす文理融合的研究	
研究総括	似田貝 香門	
所属機関・部局・職	東京大学・大学院人文社会系研究科・名誉教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>「防災から社会再建へ」との理念を掲げ、諸学の連携により人文・社会科学研究のパラダイムシフトを目指している研究テーマであり、研究は着実に進展している。また、東日本大震災を新たな課題として真摯に受け止め、今後の研究計画を立てており、更なる進展が期待できる。</p> <p>一方で、基本的な問題設定について、改めて検討する必要があると思われる。地震の被災のみの場合と、津波や原発事故等により土地基盤を喪失した場合とでは状況が異なる。多岐にわたる研究目的のそれぞれで成果を出すことに加え、それぞれの成果を現実へ反映させた場合について、実際の行政との関係の観点からも検証を進めていただきたい。</p>		